



2026年6月期第2四半期（中間期） 決算説明会資料

株式会社インテリジェント ウェイブ

2026年2月6日

2026年6月期上期 業績と成果

2026年6月期 業績予想

中期経営計画進捗

参考資料

- 売上高は、主力の決済領域が堅調に推移し増収
- 営業利益は、決済領域の品質対応やセキュリティ領域の製品構成の影響を受け粗利率が低下
- 受注は、前年の複数年契約案件の影響等により減少

単位：百万円

	25年6月期上期		26年6月期上期		増減	前同比	上期計画	
	金額	売上比	金額	売上比			金額	計画比
売上高	7,540	-	8,352	-	+811	+10.8%	8,000	+4.4%
売上総利益	2,231	29.6%	2,313	27.7%	+82	+3.7%	-	-
販売管理費	1,374	18.2%	1,438	17.2%	+64	+4.7%	-	-
営業利益	857	11.4%	875	10.5%	+18	+2.1%	950	△7.9%
経常利益	887	11.8%	901	10.8%	+14	+1.6%	970	△7.0%
当期純利益	610	8.1%	606	7.3%	△4	△0.7%	670	△9.5%
受注高	12,751	-	7,065	-	△5,685	△44.6%		
受注残高	21,795	-	19,024	-	△2,770	△12.7%		

2026年6月期上期 売上高（事業領域別）

- 決済領域は、クラウドサービスを中心に増加。FEPシステム更改や金融機関向けインフラ運用サービスも増加
- セキュリティ領域は、大手顧客への製品導入等により増加

単位：百万円

	25年6月期上期	26年6月期上期	増減	前同比
売上高	7,540	8,352	+811	+10.8%
決済	6,166	6,970	+804	+13.0%
FEP	2,721	3,215	+494	+18.2%
不正検知	1,179	1,549	+369	+31.4%
アクワイアリング	1,466	1,236	△230	△15.7%
その他	799	969	+170	+21.3%
セキュリティ	923	993	+69	+7.5%
データ通信・分析基盤	449	387	△62	△13.8%
参考) クラウドサービス	1,527	2,035	+507	+33.2%

*FEP (Front-End Processor) システム：クレジットカード決済処理に必要なネットワーク接続やカードの使用認証等の機能をもつハードウェア、及びソフトウェア

2026年6月期上期 売上高 (製品カテゴリ別)

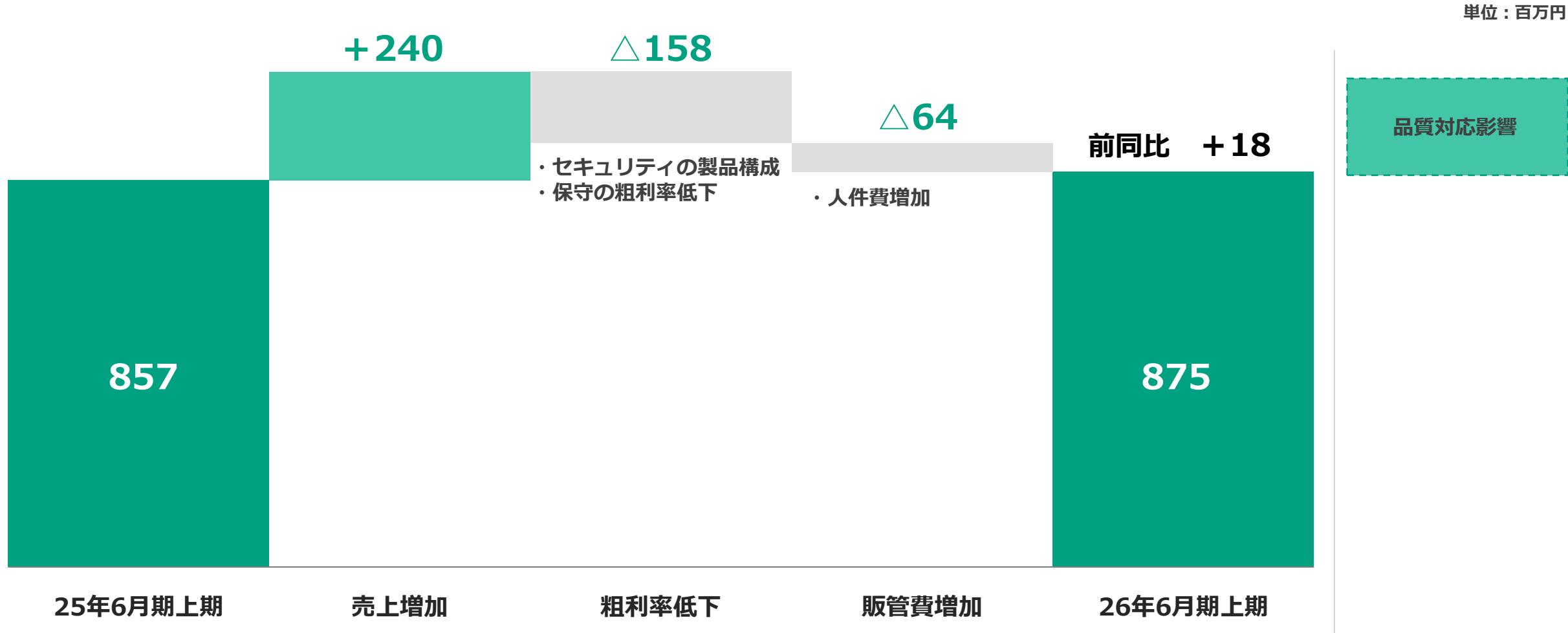
- システム開発は、前同比で減少するが、期初計画の水準は確保
- クラウドサービスは、ユーザー数増加や、既存ユーザーの機能追加等により増加
- 他社製品は、FEPシステム更改により増加

単位：百万円

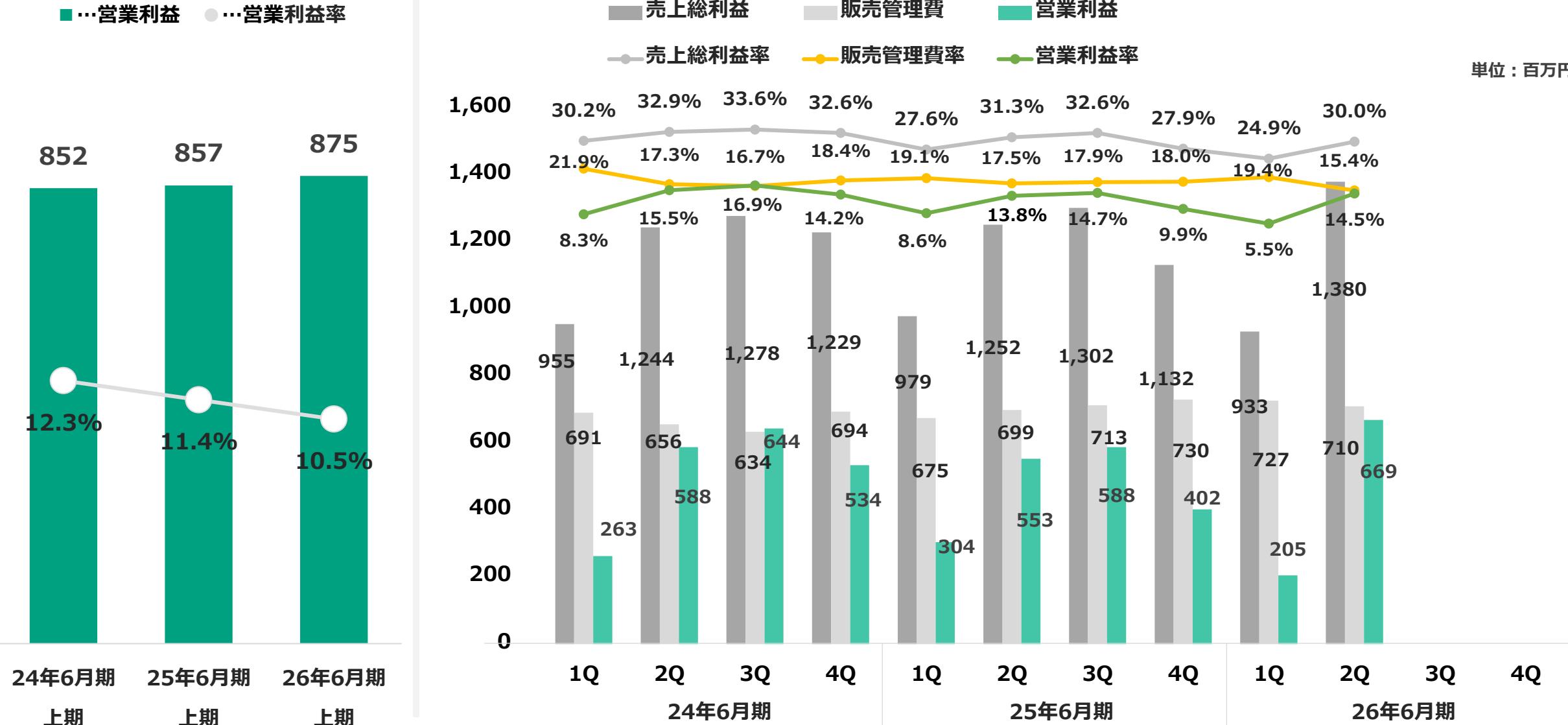
	25年6月期上期	26年6月期上期	増減	前同比
売上高	7,540	8,352	+811	+10.8%
システム開発	3,479	2,769	△710	△20.4%
保守	796	832	+36	+4.6%
自社製品・サービス	165	408	+243	+147.4%
他社製品（ハードウェア等）	647	1,312	+664	+102.8%
クラウドサービス	1,527	2,035	+507	+33.2%
セキュリティ	923	993	+69	+7.5%

2026年6月期上期 営業利益

- 決済領域は、クラウドサービスを提供する一部顧客への品質対応等により粗利率は低下
- セキュリティ領域は、製品構成の影響により粗利率は低下



2026年6月期上期 営業利益推移

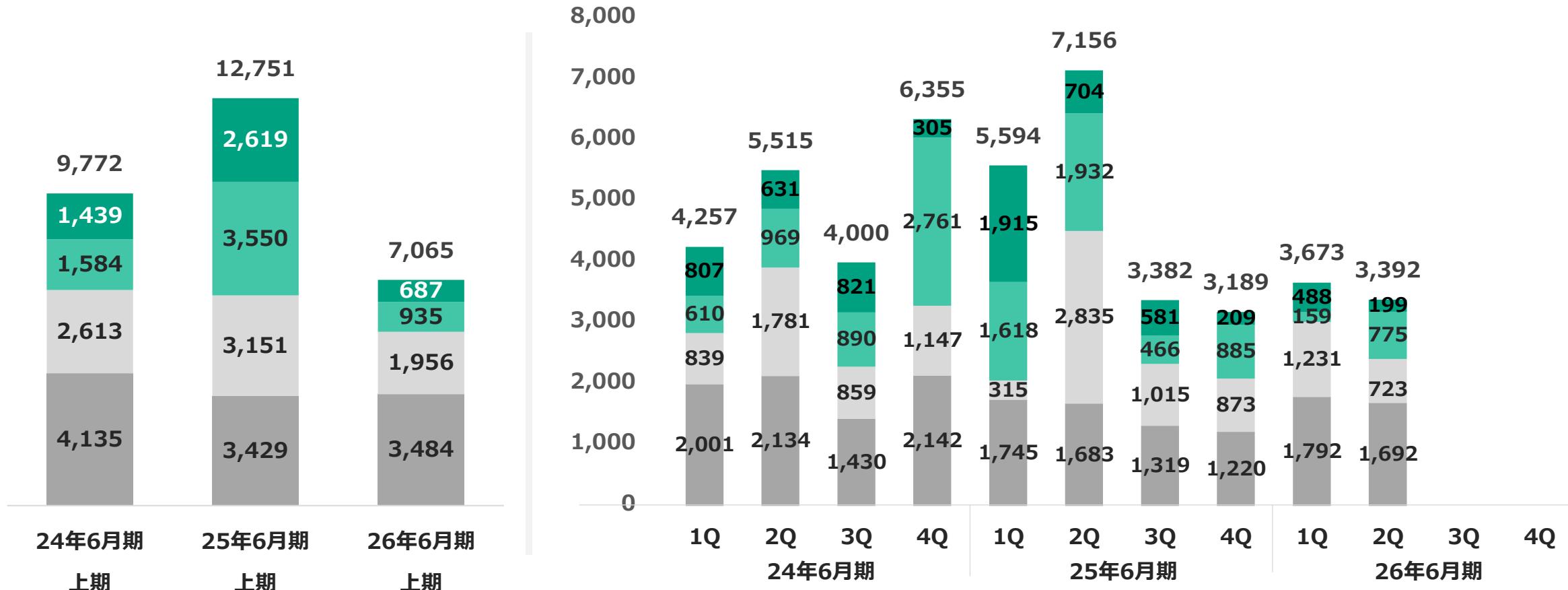


受注高 (製品カテゴリ別)

- クラウド・セキュリティ・インフラ運用など、ストック型の複数年契約案件の受注高が減少
- 一方、システム開発は、主要顧客の更改案件等を受注し、全体としては微増
- 中期経営計画で掲げる決済・セキュリティ領域の提供価値拡大に向け、提案力強化と案件創出を進める

■ …システム開発 ■ …保守、自社製品・サービス、他社製品（ハードウェア等）
 ■ …クラウドサービス ■ …セキュリティ

単位：百万円

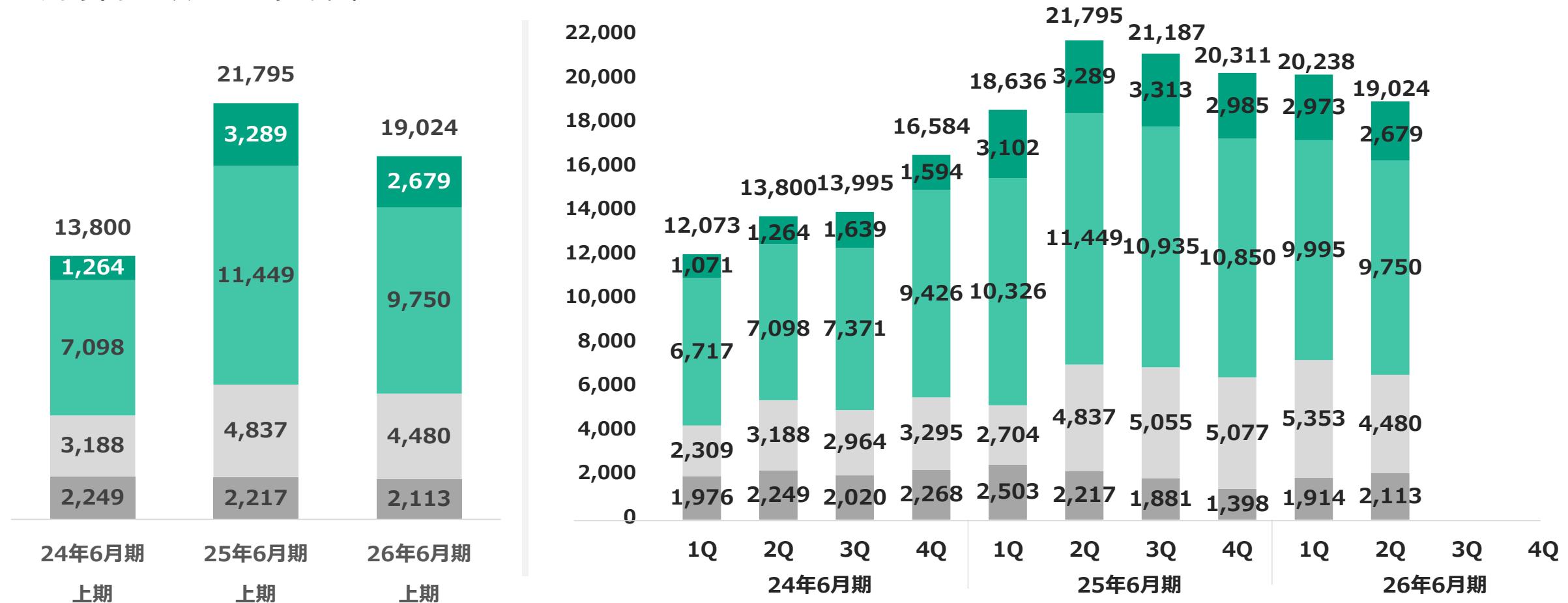


受注残高 (製品カテゴリ別)

- クラウド・セキュリティ・インフラ運用など、複数年のストック型案件の受注高減少により、受注残高も縮小
 - 中期経営計画に沿って、決済・セキュリティ領域での新規案件の獲得に注力し、受注残高の積み上げを図る

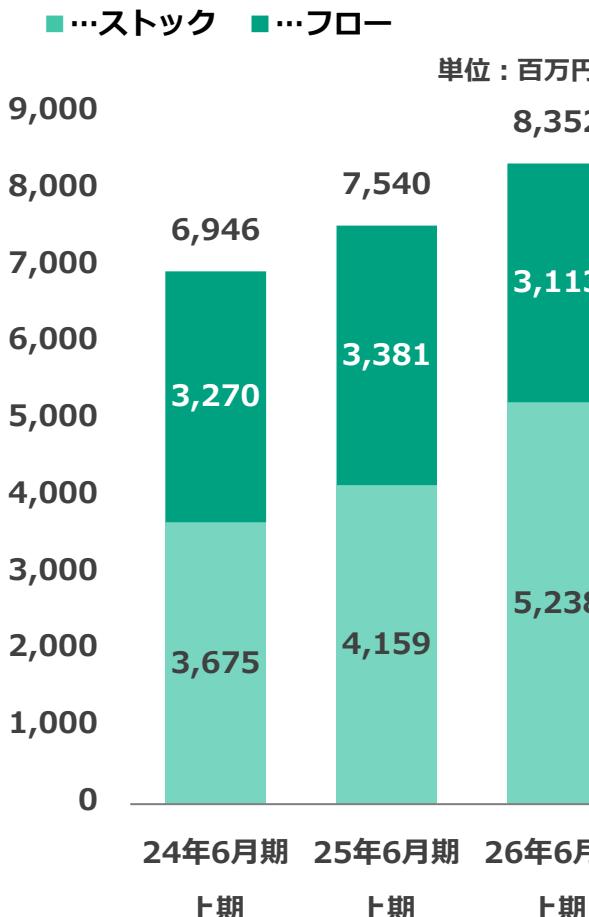
■ …システム開発 ■ …保守、自社製品・サービス、他社製品（ハードウェア等）
■ …クラウドサービス ■ …セキュリティ

単位：百万円

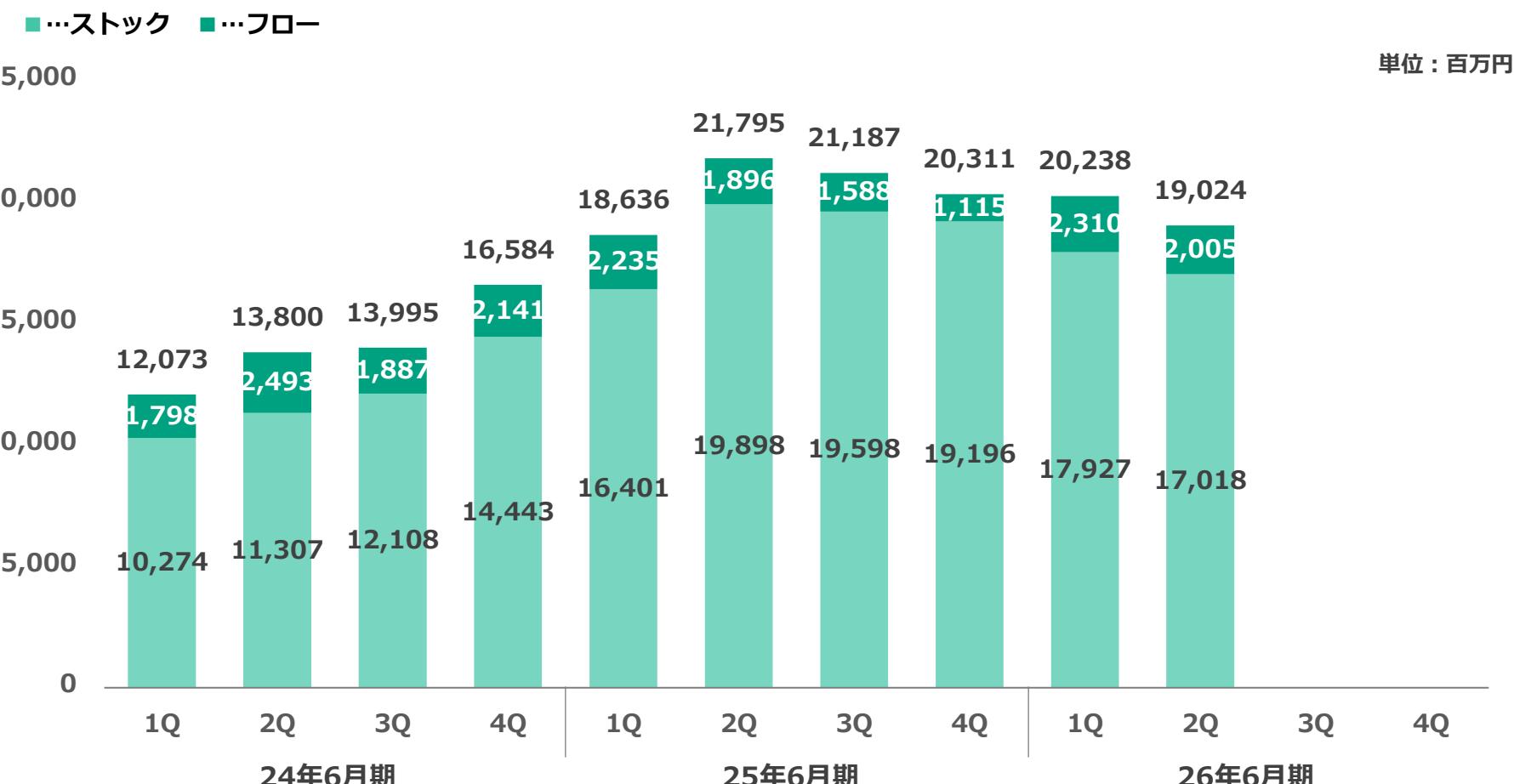


参考) ストック/フロー別の売上高・受注残高

■ ストック/フロー別 売上高



■ ストック/フロー別 受注残高



ストック：契約の形態や業務の実態等から判断して、定常的に一定規模の売上高を計上できる案件

(クラウドサービスやセキュリティ製品の利用料、自社サービス、システム運用保守、自社製品や他社製品の保守等)

フロー：契約の規模や成立時期が定常的ではない案件 (システム開発、自社製品や他社製品の販売等)

2026年6月期上期 業績と成果

2026年6月期 業績予想

中期経営計画進捗

参考資料

期初の業績予想から変更なし

単位：百万円

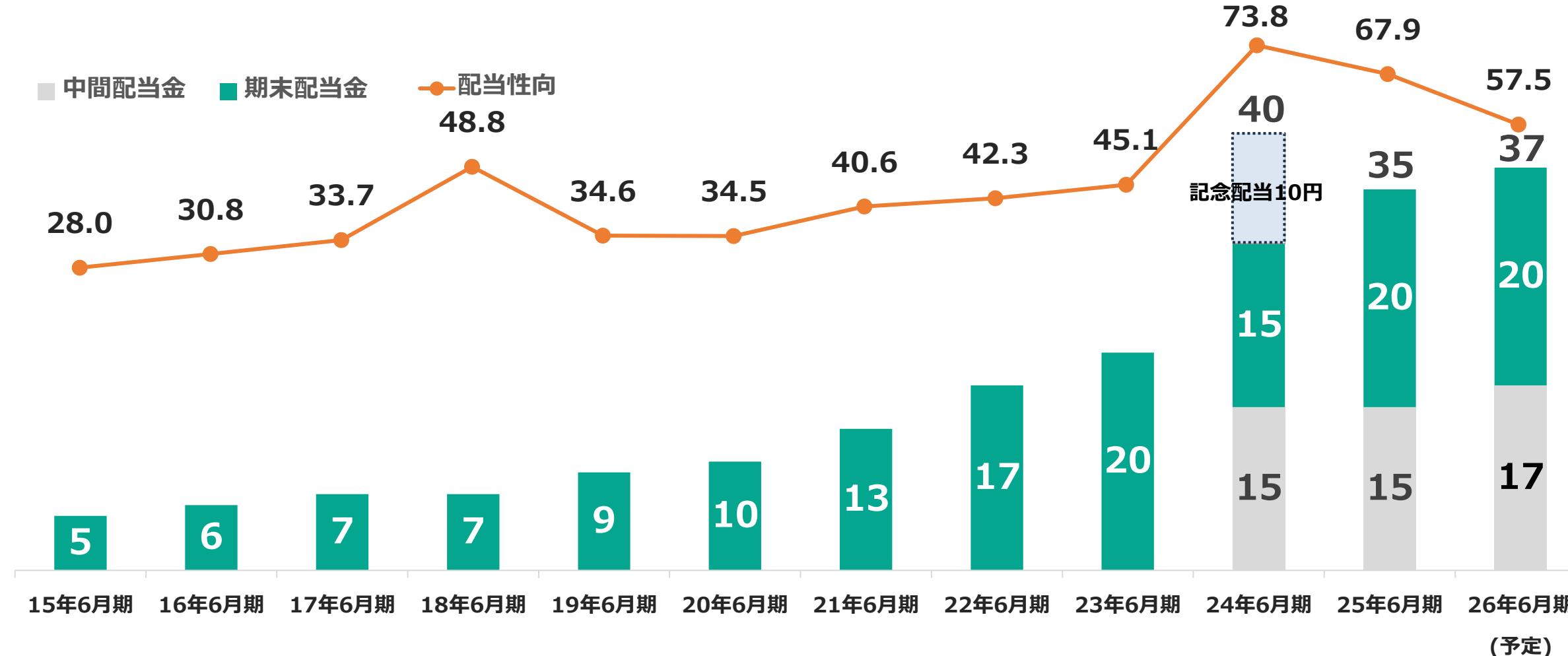
	25年6月期実績			26年6月期予想			対前期比
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
売上高	7,540	8,055	15,596	8,000	9,400	17,400	+11.6%
決済	6,166	6,589	12,755	6,540	7,560	14,100	+10.5%
セキュリティ	923	1,098	2,022	1,040	1,210	2,250	+11.2%
データ通信・分析基盤	449	367	817	420	630	1,050	+28.4%
営業利益 (率)	857 (11.4%)	991 (12.3%)	1,848 (11.9%)	950 (11.9%)	1,450 (15.4%)	2,400 (13.8%)	+29.8%
経常利益 (率)	887 (11.8%)	1,002 (12.4%)	1,890 (12.1%)	970 (12.1%)	1,470 (5.6%)	2,440 (14.0%)	+29.1%
当期純利益 (率)	610 (8.1%)	738 (9.2%)	1,349 (8.7%)	670 (8.4%)	1,020 (10.9%)	1,690 (9.7%)	+25.2%

2026年6月期 業績予想進捗

単位：百万円

	25年6月期実績			26年6月期予想			対前期比
	上期	下期	通期	上期実績 ※①	下期計画 (②-①)	通期計画 ※②	前期比 (通期)
売上高	7,540	8,055	15,596	8,352	9,048	17,400	+11.6%
決済	6,166	6,589	12,755	6,970	7,130	14,100	+10.5%
セキュリティ	923	1,098	2,022	993	1,257	2,250	+11.2%
データ通信・分析基盤	449	367	817	387	663	1,050	+28.4%
営業利益 (率)	857 (11.4%)	991 (12.3%)	1,848 (11.9%)	875 (10.5%)	1,525 (16.9%)	2,400 (13.8%)	+29.8%
経常利益 (率)	887 (11.8%)	1,002 (12.4%)	1,890 (12.1%)	901 (10.8%)	1,539 (17.0%)	2,440 (14.0%)	+29.1%
当期純利益 (率)	610 (8.1%)	738 (9.2%)	1,349 (8.7%)	606 (7.3%)	1,084 (12.0%)	1,690 (9.7%)	+25.2%

中間配当は直近の予想どおり 1 株当たり 17 円とし、期末配当についても 20 円を予定



2026年6月期上期 業績と成果

2026年6月期 業績予想

中期経営計画進捗

参考資料

上期振り返り

品質問題の長期化により、営業・開発活動が一部制約され、本来見込んでいた成長機会を十分に活かしきれなかった。下期はコンディションを整え、製販一体で機会創出の最大化に取り組む

当社の現状と課題

①決済案件の規模拡大と多様化に対応する開発体制、開発環境の最適化

- ・開発案件の大型化、クラウドサービスの拡大、インフラ運用案件の受注等、新たな取組みが増加
- ・製品／サービスラインナップの拡大に伴うインフラ環境の複雑化、維持管理コストの増加
- ・既存領域における開発生産性向上（自動化、標準化）と、新規領域への開発リソースの最適配分

②決済ソリューションの付加価値向上と領域拡大

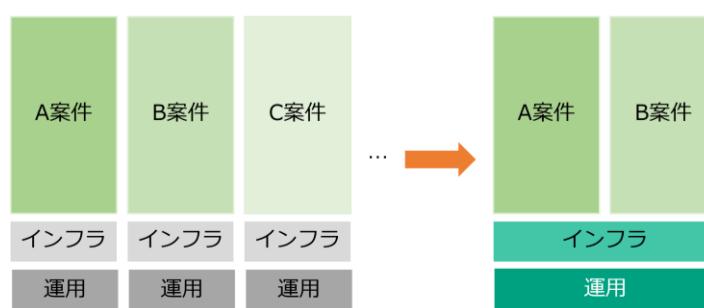
- ・決済ソリューションの提供価値拡大
- ・FEP、不正検知分野以外への領域拡大

③セキュリティ領域の成長戦略

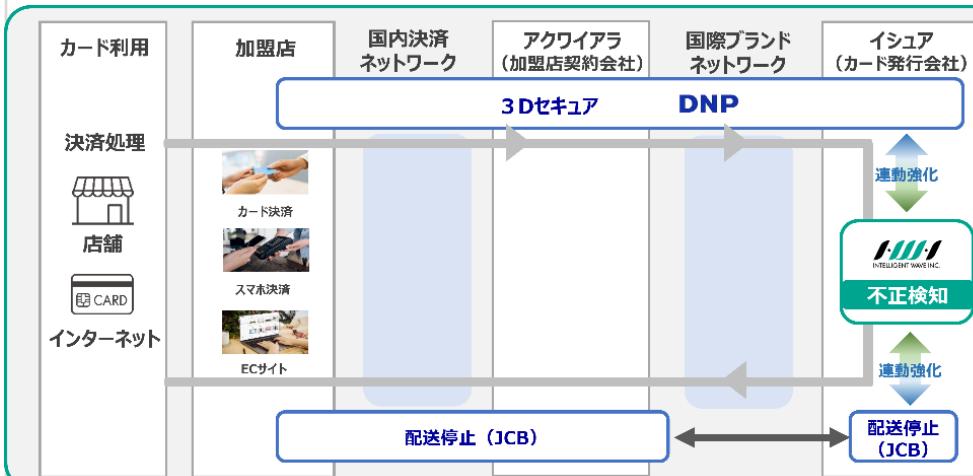
- ・自社製品CWATの商品性、提供価値の見直し
- ・単品販売中心のビジネスモデルからの転換

収益基盤の強化（品質強化と生産性向上）

	取組み	進捗状況
品質強化	<ul style="list-style-type: none"> 開発工程、開発体制、品質管理プロセスの再点検と是正 AIエージェント活用による、成果物レビュー体制の高度化・強化 PM育成、品質教育プログラムの再編による品質意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 品質改善案件の課題分析結果を踏まえ、制度・体制のは是正策の実行を開始 各工程にAIエージェントを導入し、レビュー精度の向上を検証。来期から全社展開予定 人財育成プログラムは、教育体系を再構築中
システム運用とインフラ基盤の集約と効率化	<ul style="list-style-type: none"> システム運用プロセスの標準化・自動化による工数削減と品質向上 共通インフラへの集約によるリソース最適化と可用性向上 クラウドサービスのインフラ・運用の効率化 将来の拡張に対応できるインフラ基盤の整備 	<ul style="list-style-type: none"> システム運用環境の構築を開始し、運用プロセスの標準化および自動化を推進 共通インフラについては、現状分析を完了後、順次環境整備を開始予定 DNPの決済システムの当社集約に向けて検討を進行中。現在は、運用業務の集約から検討中



決済ソリューションの付加価値向上と領域拡大

	取組み	進捗状況
FEP製品の新バージョン移行と製品ラインナップ集約	<ul style="list-style-type: none"> 新バージョン移行による開発工期の短縮、保守性の向上 製品ラインナップの集約と維持管理コストの削減 開発リソースの最適配分とリスクリミング 	<ul style="list-style-type: none"> 新バージョンへの移行と、製品ラインナップ集約に向けた既存顧客への案内開始 クラウドの技術者育成と資格取得の促進
不正対策の高度化	<ul style="list-style-type: none"> イシュア間の不正情報共有による検知向上 決済事業者間の連動による不正対策強化 	<ul style="list-style-type: none"> DNPの3Dセキュアシステムと当社不正検知システムの連動について、4Qよりシステム開発に着手予定 JCBの配送停止機能とのシステム連携強化を継続して実施
決済領域における提供価値拡大	<ul style="list-style-type: none"> 主要顧客における決済領域の拡大 当社の決済ソリューションを組み合わせた新たなサービスの検討 	<ul style="list-style-type: none"> 当社クラウドサービスのFEP、アクワイアリング機能を組み合わせた新たなサービスを検討中

セキュリティ領域の付加価値向上と販売体制の強化

	取組み	進捗状況
自社製品「CWAT」の提供価値拡大	<ul style="list-style-type: none"> • CWATの商品性向上 • DLP (Data Loss Prevention) 領域における競争力向上 • 海外現地パートナーとの販売協業 	<ul style="list-style-type: none"> • ユーザーの利便性向上に向けて、7月にCWATをリニューアル予定 • 海外展開については、フィリピンのIT商社と販売代理店契約を締結
販売競争力の強化と収益モデルの多様化	<ul style="list-style-type: none"> • 製品ラインナップの見直し • 外部パートナーとの協業強化によるコンサル型営業への変革 • 「製品販売」から「製品×サービス」のビジネスモデルへ転換 	<ul style="list-style-type: none"> • ネットワークセキュリティ製品のラインナップ拡充とエンジニアスキルの習得を実施中 • 24/365運用監視の体制を構築し、中堅企業向けに提案開始

フィリピンのIT商社Ardent Networksと「CWAT」の販売代理店契約を締結

1月15日に、フィリピンのIT商社Ardent Networks, Inc. (Ardent Networks) と販売代理店契約を締結。2月から、「CWAT」のフィリピン国内での提供を開始。東南アジアを中心に、CWATの海外展開加速を目指す。

Ardent Networksについて

コンピューティング、データ管理、ネットワークインフラ、IoT、サイバーセキュリティを専門とするフィリピンのICTディストリビューター。強固なパートナーネットワークと業界の専門知識を通じて、企業に対し最先端のソリューションを提供している



2026年6月期上期 業績と成果

2026年6月期 業績予想

中期経営計画進捗

参考資料

2026年6月期上期 製造原価明細

単位：百万円

		25年6月期					26年6月期		
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
材 料 費	17	5	6	11	15	4			
労 務 費	770	747	751	742	798	795			
経 費	819	814	790	1,003	908	945			
外 注 加 工 費	1,064	1,032	969	901	854	871			
当 期 総 製 造 費 用	2,672	2,600	2,518	2,659	2,576	2,616			
期 棚 首 仕 卸 掛 品 高	206	383	243	282	128	242			
期 棚 未 仕 卸 掛 品 高	383	243	282	128	242	243			
他 勘 定 振 替 高	385	429	271	377	207	225			
当 原 期 製 品 製 造 價	2,109	2,311	2,207	2,436	2,254	2,389			

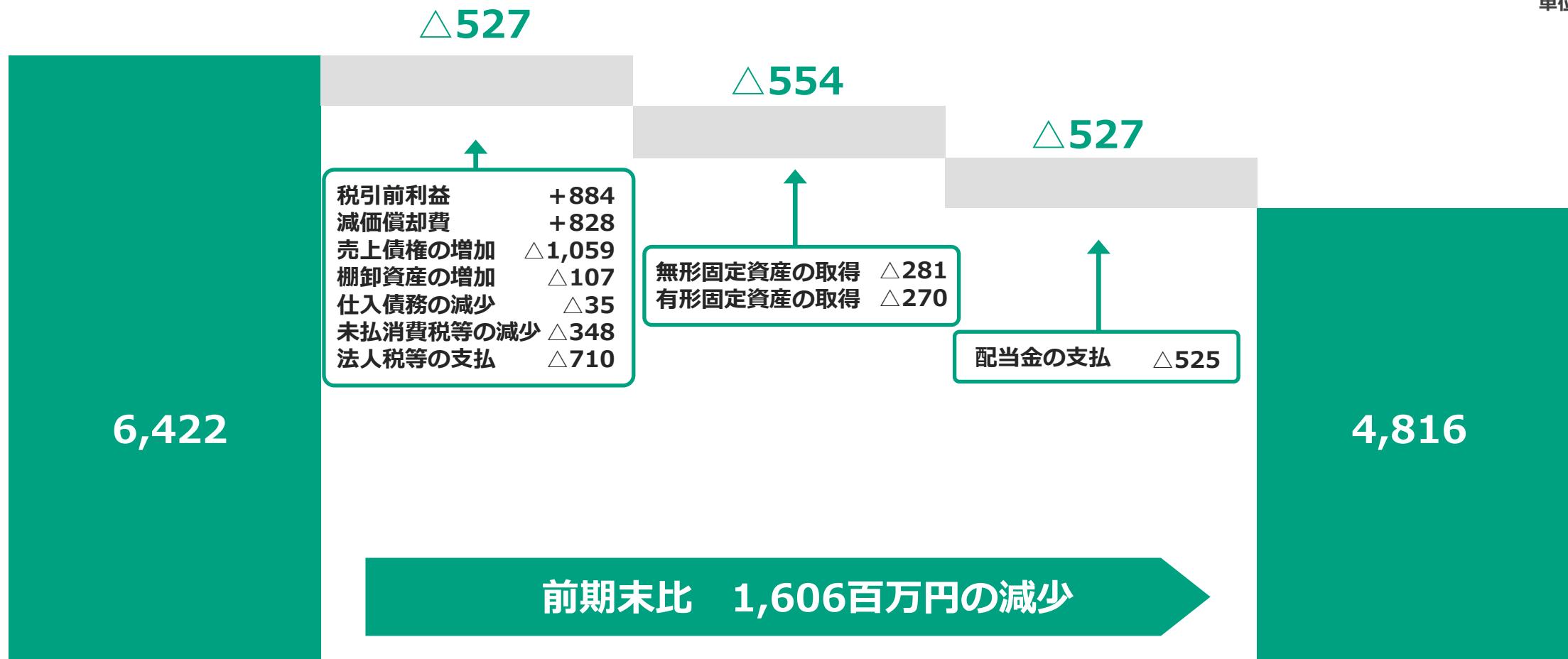
2026年6月期上期 販売費及び一般管理費

単位：百万円

	25年6月期					26年6月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
人件費	407	428	416	431	438	434		
採用・教育費	18	12	12	40	21	11		
設備・維持費等	108	112	110	115	115	116		
広告宣伝費	13	14	26	12	5	11		
その他	127	131	146	129	146	138		
合計	675	699	713	730	727	710		

	25年6月期上期	26年6月期上期	増減
販管費	1,374	1,438	+64
人件費			+36
採用・教育費			+1
設備・維持費等			+11
広告宣伝費			△10
その他			+25

単位：百万円



25年6月期末
現金 (同等物) 残高

営業活動

投資活動

財務活動

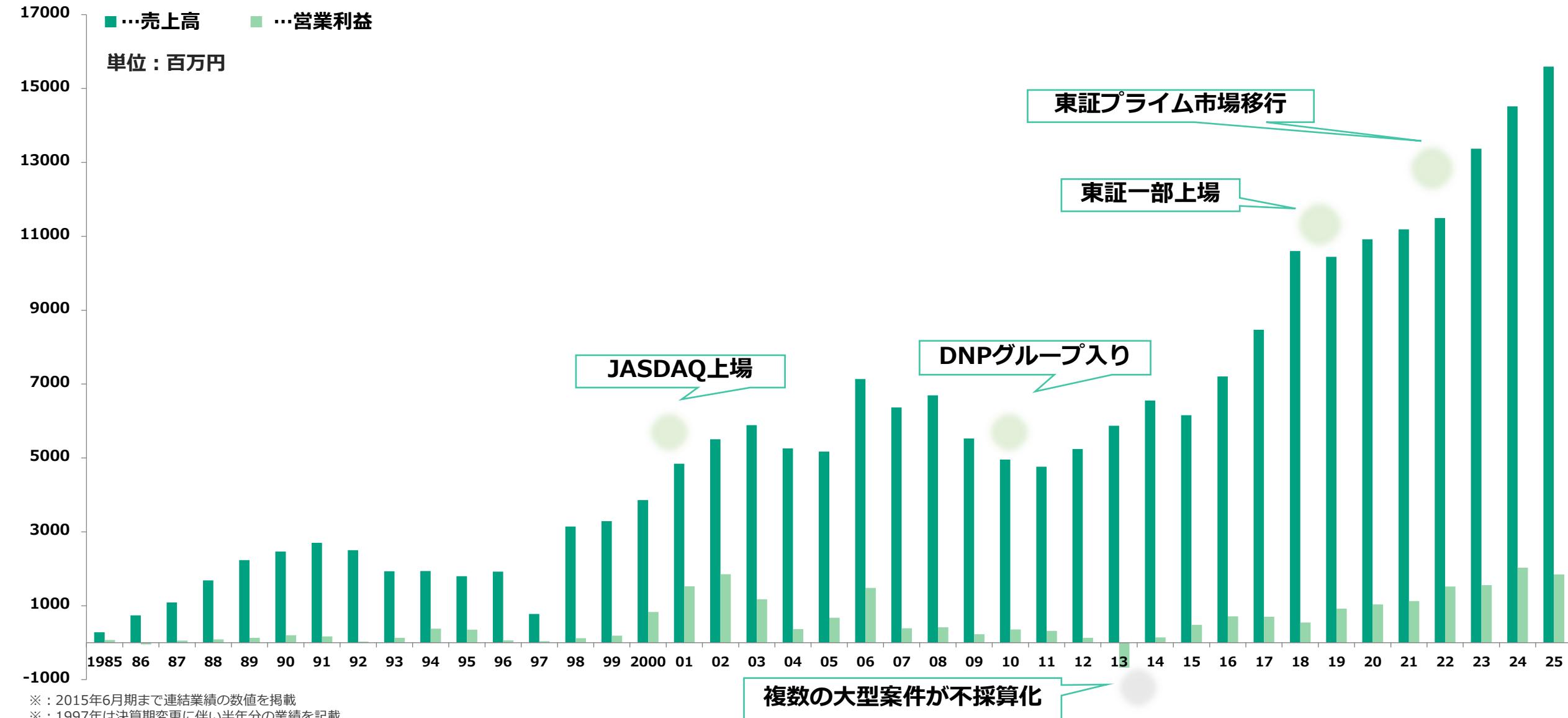
26年6月期2Q末
現金 (同等物) 残高

参考) 2026年6月期 業績予想進捗 (製品カテゴリ別)

単位:百万円

	25年6月期実績			26年6月期予想			前期比 (通期)
	上期	下期	通期	上期実績 ※①	下期計画 (②-①)	通期計画 ※②	
売上高	7,540	8,055	15,596	8,352	9,048	17,400	+11.6%
システム開発	3,479	3,359	6,838	2,769	3,661	6,430	△6.0%
保守	796	822	1,619	832	818	1,650	+1.9%
自社製品・サービス	165	383	548	408	482	890	+62.4%
他社製品 (ハードウェア等)	647	440	1,087	1,312	408	1,720	+58.2%
クラウドサービス	1,527	1,952	3,479	2,035	2,425	4,460	+28.2%
セキュリティ	923	1,098	2,022	993	1,257	2,250	+11.2%
営業利益 (率)	857 (11.4%)	991 (12.3%)	1,848 (11.9%)	875 (10.5%)	1,525 (16.9%)	2,400 (13.8%)	+29.8%

長期業績推移



2030年代を見据えて、事業の多角化と持続的な成長の基盤づくりに取り組む。決済、セキュリティ、テクノロジー領域を中心とした、さまざまな分野で積極的に事業を展開することで、人々の生活に価値をもたらし、新たな信頼性を創造していく

「Transformation for the Future」

- (1) 決済領域は、当社独自のプロダクトや決済業界におけるポジションを活かし事業領域を拡大することで持続的な成長を図る
- (2) セキュリティ領域を第二の事業の柱へと成長させる
- (3) コア技術を活用した、データ通信・分析基盤領域を、成長市場へ展開し、決済やセキュリティに続く、第三の柱を創出する
- (4) DNPグループとの連携をより進め、それぞれの顧客基盤を活用しながら事業競争力を強化、グループ・シナジーを創出する



2030年代の市場環境に向け、新たな信頼性を創造する製品・サービスを開発し続けていくため、
「事業」「技術」「人財」の3つの“変革”に注力する



01 事業の変革

- ①既存事業と新規事業の価値最大化、保有ソリューションの価値最大化
- ②決済領域から新領域への事業拡大
- ③収益構造見直しによる収益性向上。プロダクト指向への回帰

02 技術の変革

- ①コア技術と最先端技術・DXとの掛け合わせによる優位性の確保、
価値の最大化、価値の創出
- ②開発、保守、運用の合理化

03 人財の変革

- ①事業企画人財の育成、コンサル機能強化
- ②R&D機能の強化
- ③事業戦略に即した人財流動化

設立 **1984年12月27日** (2025年12月末現在)
 所在地 **東京都中央区新川1-21-2 茅場町タワー**
 従業員数 **515名**
 親会社 **大日本印刷株式会社 (50.73%*)**
 資本金 **843,750千円**
 発行済株式数 **26,340,000株** 株主数 **11,917名**

株式数比率		株主数比率	
個人・その他	38.43%	個人・その他	98.45%
金融機関	2.87%	金融機関	0.05%
国内法人	51.19%	国内法人	0.42%
外国法人等	4.10%	外国法人等	0.85%
証券会社	3.18%	証券会社	0.23%
自己名義株式	0.23%	自己名義株式	0.01%

*自己株式数を除く発行済み株式数に対する割合



**本資料は、当社の会社説明・事業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、
当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。**

**本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、
その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、
また今後、予告なしに変更されることがありますので、ご注意ください。**

株式会社インテリジェント ウェイブ

経営管理本部 IR・サステナビリティ推進室

E-mail: ir_info@iwi.co.jp